

サクランボ集会 名森小学校

仲良くおんぶで収穫

5月9日(金)、校庭に実る真っ赤なサクランボの収穫を名森小学校1年生(83人)と6年生(92人)が協力しながら行いました。

高いところまで手が届くように6年生が1年生を背負い、互いに交流しながら仲良く収穫を楽しみました。

このサクランボの木は、「実のなる木」として子どもたちに植物の生長過程や収穫の楽しさを学んでもらうために植栽されたもので、毎年子どもたちの手で収穫しています。



すどう しおり
須藤 栞さん
(名森小学校1年生)

おんぶしてもらって、高いところの実まで取れたので楽しかったです。



おいしそうだね



高いところも収穫しよう



みんなで収穫すると楽しいね



かごいっぱい収穫しよう

甘い香りとともに

イチゴ交流会 牧小学校

5月16日(金)牧小学校1年生(15人)と2年生(14人)が、あすわ苑のお年寄りを招いて、牧長寿会の皆さんの指導のもと学校農園のイチゴを収穫する「イチゴ交流会」を行いました。

子どもたちは真っ赤に色づいたイチゴを収穫すると、あすわ苑のお年寄りに優しい言葉を添えて手渡し、一緒に味わいました。

この交流会は、子どもたちが相手を思いやり、誰に対しても優しく接することができるよう、毎年行われています。



おいだ あゆか
種田 渉花さん
(牧小学校2年生)

大きなイチゴをみんなで食べることができて、楽しかったです。



甘くておいしいな



真っ赤なイチゴ、ゲット!!



温かい言葉を添えて



牧長寿会の皆さんに教わりながら収穫